



病院NEWS

no. 370
2015
04/01



The Hospital News.Faculty of Medicine Kagawa University



香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/ 病院長 横見瀬 裕保

第1回 医療セミナー「イキイキさめき健康塾 — 香川大学病院と最新医療 —」を開催

総務課

2月22日(日)に第1回のセミナーを開催しました。

このセミナーは、香川大学の地域連携活動(香川大学サテライトセミナー)の一環として計画したものです。

本院は、県下唯一の大学病院として、「ささえる、つながる、リードする」のキャッチフレーズのもと、県民の皆さんの医療に対するニーズに的確に応え、最新・最良の医療を安心・安全に提供を務めています。その一環として、県民の皆さんに対して「医療の現状と流行の疾患等」について広く周知することを目的に標記の医療セミナーを定期的を実施することとしました。

会場は、皆さんが集まりやすいところを選び、丸亀町レッツホール(高松丸亀町商店街壱番街東館4階)です。

第1回の内容は、眼科の廣岡一行准教授による「緑内障に対する治療 最近、見える範囲が狭くなったことはないですか?」で、県内各所から44名の方が参加されました。セミナーは、聴講者のアンケート結果も好評で、セミナー後も個別の質問・相談で行列ができていました。

今後下記のとおり開催してまいりますので、是非参加くださるよう、お願いいたします。

イキイキさめき健康塾 — 香川大学病院と最新医療 —

「C型肝炎の最新治療」

過去の健康診断で肝機能の異常を指摘されたことはありませんか?

平成27年4月26日(日) 11:00~12:00

丸亀町レッツホール 高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町壱番街東館4階

講師:消化器内科 米山 弘人 助教

参加費無料、事前申込不要 問合せ先:総務課 電話:087-891-2008(平日9時~17時)

3次元疾患モデル製作用の3Dプリンターの導入について

地域医療教育支援センター長 松原 修司

本院の臨床教育開発棟に3次元疾患モデル製作用の3Dプリンターが設置され、本年1月より稼働しています。

3DプリンターではCT・MR検査の画像データをもとに、患者さんごとの3次元疾患モデル(立体造形物)が作成可能です。造型した立体の疾患モデルを用いた病状説明、治療方針の検討や医師の教育・研修など、様々な有効活用が可能です。これにより、医療の質の更なる向上につながります。具体的には3次元疾患モデルを用い、骨切除術などの術前シミュレーションが可能となり、より最良の手術を実施出来ます。

今回、本院で導入した2台の機種(※Objet500 Connex3 STRATASY製:マルチマテリアル・フルカラー対応最高機種、※uPrint SE STRATASY製:高強度・高耐久性ABS樹脂での造形)は、幅広い疾患の高精度の造型に対応可能です。これらの機種を、現在、全国立大学病院で保有しているのは限られた施設のみです。

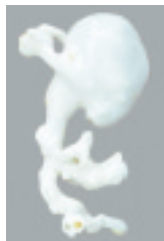
導入後、本院各診療科において疾患モデルが作成され、CT・MRにおける3D画像と併用することで、病態をより深く把握可能と好評を得ております。

最新の3Dプリンターによるハイテクノロジーを活かし、高精度・高品質の疾患モデルを作成することで、最先端の医療を提供し、今後も地域医療に貢献できるように努めてまいります。

【導入後作成した疾患モデル】



①腎癌モデル
(泌尿器・副腎・腎移植外科)



②脳動脈瘤モデル
(脳神経外科)



③脊椎転移性骨腫モデル
(整形外科)



④漏斗胸モデル
(形成外科・美容外科)



⑤頭蓋骨骨折モデル
(法医学教室)



平成27年2月1日付けで、香川大学医学部臨床腫瘍学講座教授、附属病院腫瘍センター長として着任いたしました 辻 晃仁です。この場をお借りいたしまして、皆様方にご挨拶申し上げます。

香川大学医学部臨床腫瘍学講座はこのたび新設されました講座です。本邦の死因の第一位の疾患であるがんに対していかに取り組んでゆくかは、国民の生命や健康を守る上で重大な問題となっており、専門的な知識や技能を有するがん医療専門家を育成することが強く求められてきました。私は各種固形がんの化学療法、新規抗がん剤の臨床開発、外来化学療法、癌診療における医療連携などを専門といたしておりまして、これまでに多くのがん薬物療法専門医を育成してまいりました。このたび、がんの包括的な研究、教育の場としての臨床腫瘍学講座を主宰させていただくこととなりました。これからは

1) 分子標的治療を含むがん薬物療法を中心とした臓器横断的腫瘍学の研究と診療提供、2) がん薬物療法を中心とした他診療科との連携、3) 基礎研究、臨床研究、臨床試験による新しい抗がん剤やがん治療法の開発、4) 臨床力に優れる、熱い心を持った腫瘍内科医の教育法の確立などに力を注いで臨床腫瘍学講座を運営していきたいと考えています。

さらに医学部附属病院では、腫瘍センター長を拝命いたしました。がんと戦う患者さんに信頼される香川大学附属病院腫瘍センターとなるべく、現在以下のMission&Visionを掲げ、新たな展開をおこなってゆきます。

使命(Mission): 最高水準のがん治療を施行するとともに、がんに関する相談支援および情報提供をおこなう。

活動目標(Vision): 連携施設/機関と協働して、地域で完結する高度ながん治療を提供し、信頼のおけるがん情報を発信し、患者さん、ご家族の皆さんが、がんに負けない治療をおこないつつ、自分らしい生き方ができるよう支援する。

今後は臨床腫瘍学の教育、研究を通じまして、国内最良のがん治療を香川大学医学部附属病院で提供すべく努力してゆく所存ですので、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

第5回 知事と香川大学医学部生との意見交換会について

平成27年2月17日に浜田恵造香川県知事が香川大学医学部にお越しになり、「香川大学医学部生との意見交換会」が臨床教育開発棟1階会議室で行われました。ご多忙なスケジュールの合間を縫って本学医学部生との意見交換会を年1回実施いただき、第5回となりました。

大学側からは、今井田 克己医学部長、横見瀬 裕保病院長が参加し、本学医学部生を代表し在学学生6名と本院研修医3名が知事を囲んで意見交換が出来る貴重な機会に恵まれました。

香川県には、県内の地域医療を支える貴重な人材である若手医師の県内定着を目指し「医学生修学資金貸与制度」や「医師育成キャリア支援プログラム」等 積極的な施策を実施頂いております。また、学内の臨床教育開発棟の建設・スキルスラボラトリーの整備等 ハード面でも本院を御支援頂いております。

意見交換会終了後は、スキルスラボラトリーの視察も可能とのことでしたので、1月より稼働している3Dプリンターの見学および造形モデリングをご体験いただきました。また、泌尿器科の先生よりダヴィンチシミュレーター(手術支援ロボット)について説明を受け操作体験いただきました。医療のハイテクノロジー化を実感されたご様子でした。

会の終わりには、医学部生参加者一人一人と知事が握手くださり記念撮影を行いました。

地域医療教育支援センターとして、香川県の期待に添えるよう地域医療の充実に努力していく所存です。



四国新聞 2014年(平成26年)8月8日(金曜日)掲載

四国新聞の記事転載について、ホームページでの公開の許諾期間を過ぎたため、転載記事を除きました。

(四国新聞に転載について許諾済)

四国ブロックDMAT実動訓練報告

香川大学 防災教育センター 特命教授 萩池 昌信

本年1月31日に南海トラフ巨大地震を想定した四国ブロックDMAT(ディーマツ:災害派遣医療チーム)実動訓練が香川県下で行われました。四国のDMAT約40チームと自衛隊、消防、警察の各機関の協力のもと約500人が参加して訓練が行われました。当日は旧香川県立中央病院跡地を用いて倒壊病院を想定した医療救護活動訓練と、災害拠点病院で他県から派遣されたDMATチームの受け入れ訓練(受援訓練)を行いました。

当院では篠原奈都代医師を中心として東讃医療圏を意識した災害拠点病院としての訓練を行い、防災ヘリを用いた患者搬送訓練にも参加しました。三木町を中心とした東讃地区の主要機関や医療機関の連絡先リスト、医療圏の地図、衛星電話などを準備し、DMAT活動拠点本部を設置しました。模擬患者を準備し、徳島県のDMATチームと協力して多数傷病者対応の訓練、患者の治療優先度・搬送優先度の検討と、ヘリによる患者搬送を行いました。

今後は病院避難に伴う他県から多数傷病者受入訓練なども必要だと感じました。旧中央病院跡地では、ライフラインが途絶した暗所での救護所活動は参加チームにとって大変貴重な経験となりました。香川県全体の災害時医療部門指揮命令システムの改善点も判明し、今後の改善が期待されます。

災害教育は地域に根差した教育が基本です。当院では災害拠点病院としての機能充実、ならびに地域住民の皆様・自治体・医師会・他の医療機関とも協力して災害に強い医療圏づくりに貢献できるように災害教育を進めたいと考えています。今後とも皆様のご協力の程よろしくお願いたします。



臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長
医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

●臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー H27.4月~6月 予定表

| 月日 | 時間 | 場所 | 名称及び内容 | 担当 | 連絡先 |
|--------|-------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------|---------------|
| 4/7 火 | 18:30~ | 病院地下1階患者図書室 オープの郷 | 平成27年度第1回香川県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会-研修会 | 中核病院機能強化支援室 | (087)891-2452 |
| 4/26 日 | 11:00~12:00 | 丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町香街東館4階 | イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新医療-「C型肝炎の最新治療」 | 総務課 | (087)891-2008 |
| 5/23 土 | 9:00~18:30 | サンポートホール高松 第1小ホール | 第35回日本登山医学会学術集会 | 手術部 | (087)891-2283 |
| 5/24 日 | 9:00~15:00 | サンポートホール高松 第1小ホール | 第35回日本登山医学会学術集会/公開市民講座 | 手術部 | (087)891-2283 |
| 5/24 日 | 11:00~12:00 | 丸亀町レッツホール高松市丸亀町1番地1 高松丸亀町香街東館4階 | イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新医療-「糖尿病について」 | 総務課 | (087)891-2008 |
| 5/28 木 | 14:00~16:00 | 未定 | がん患者サロン | がん相談支援センター | (087)891-2473 |
| 6/13 土 | 未定(午後) | かがわ国際会議場 | 肝疾患 市民公開講座 | 中核病院機能強化支援室 | (087)891-2468 |

看護職員募集

中途採用者随時募集

助産師・看護師免許を有し、夜勤が可能な方

お問い合わせ先 087-891-2320(看護管理室)

編集委員会 (50音順)

荒井(検査)、一條(経営)、岡田(総務)、
加藤(放射線)、白神(麻酔)、中妻(看護)、
濱本(外来)、芳地(薬剤)、松本(看護)、
村上(病棟)、安友(管理)、横井(情報)、
吉野(医事)

[委員長 横見瀬病院長]